

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	787	課コード	0704	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	手賀沼遊歩道の再整備		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	都市部・公園緑地課		
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	■我孫子 ■天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市					
	⑤事業期間	平成25年度 ~			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.15人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	100,310千円		当該(開始)年度	(当初)	2,820千円 (うち人件費 1,320千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	11202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	緑の基本計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼に多くの人に訪れてもらうため、周辺の歩道や公共サインなどを整備するとともに、交通アクセスの向上を図ります。また、手賀沼に親しめる交流拠点としての活用が期待される手賀沼親水広場、鳥の博物館、高野山桃山公園、アピスタ、手賀沼公園などの公共施設や手賀沼周辺の歴史的・文化的遺産をネットワーク手賀沼遊歩道は、手賀沼公園から五本松公園下までの約4.7kmの緑道で、年間を通して手賀沼を訪れる多くの人たちに親しまれています。本事業は、手賀沼遊歩道に設置してある汲取り式トイレ3基を水洗化及び老朽化した箇所の改修を行い、利用者の利便性の向上を図るとともに、対岸の手賀沼自然ふれあい緑道と連携し、手賀沼を一周出来る遊歩道の整備を進めます。			事業目的	市内外から多くの人に訪れてもらうため、木の根による舗装の隆起で不陸が生じている遊歩道の補修を行い、手賀沼を親しめる場として再整備する。					
(3) 事業内容	内容	14年度~16年度：トイレ水洗化工事 16年度~17年度：東側延伸工事 18年度：西側延伸計画方針の検討 23年度：バリアフリートイレ(若松)整備工事 28年度：舗装修繕工事 29年度：舗装修繕工事			当該年度執行計画	木の根により隆起した遊歩道の舗装を、危険性のある箇所から修繕する。					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				当該(開始)年度	舗装修繕工事	単位	%	想定値	0	
	当該(開始)年度	舗装修繕工事			指標種類	指標	単位	%	(5) 現況値	(6) 目標値	
	3年後	実施設計に基づく遊歩道及び施設の整備			直接	工事の進捗率	%	0	100		
	最終(概ね5年後)	手賀沼を一周する遊歩道及び施設の整備を完了し、多くの人々が利用する。			直接	整備工事の進捗率	%	0	100		
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	平成28年度		平成29年度			平成30年度		平成31年度			
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	
	*	舗装修繕工事	2,139	*	舗装修繕工事	1,500	*	舗装修繕工事	2,500	*	舗装修繕工事
	予算(済)額	合計	2,139	合計	1,500	合計	2,500	合計	2,500		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	
	一般財源		2,139		100		2,500		2,500	2,500	
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 ■基金 □その他	1,400	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.15		0.15		0.15		0	0	
	正職員人件費		1,320		1,320		1,320		0	0	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	0	
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		3,459		2,820		3,820		2,500	2,500	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0千円/%		0千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	手賀沼公園から五本松公園下を結ぶ約4.7kmの遊歩道であり、四季を通じて、市民に親しまれているが、トイレ(汲み取り式)は20年以上を経過しており、老朽化が激しいため、手賀沼遊歩道の安全性・利便性を向上させ、安全で快適な水辺空間を創出する。また、老朽化や樹木の根の成長により、舗装版の傷んでいる箇所があるため、修繕を行っていく。さらに、手賀沼を広域レクリエーション空間としていくため、手賀沼を一周することができる遊歩道の整備が市民から求められている。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>				○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他  <その他の内容>		手賀沼に親しみ、より多くの市民が安全に安心して利用できるような整備を進める。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	3.55	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (790), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 事業が今必要である理由, (2) 市が実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫, (7) 目標値を実現する為に.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (803), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由, (2) 市が実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	809	課コード	0704	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公園維持管理 個別事業 公園のバリアフリー化推進	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	都市部・公園緑地課					
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	平成28年度 ~ 平成30年度		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.35人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 22,693千円 (うち人件費 3,080千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無				
(2) 目的	施策目的・展開方向	公園・緑地が持つ機能に配慮し、市内に残る貴重な樹林地や城跡、古墳などの歴史的・文化的資源を活用しながら、市街地で公園が不足している一部の区域において公園の整備を検討します。また、誰もが安心して利用できる公園のバリアフリー化を進めるとともに、主要公園における遊具の充実を図り、子どもたち市の主要公園を計画的に維持管理するため、公園施設の長寿命化計画を策定し、長寿命化計画に基づき公園の出入口や園路等のバリアフリー化の修繕工事を行い、快適な大規模公園となるよう適正な維持管理を行う。			事業目的	安全・安心な公園とするため、適正な公園管理を行なう						
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	公園施設長寿命化計画に基づき公園のバリアフリー化工事の実施設計を行う。 ・事業を行うにあたっては国の交付金等を活用する。						
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				当該年度活動結果指標	天王台西公園及び布佐南公園のバリアフリー化工事の実施設計の完了	単位	件	想定値	1		
当該(開始)年度	市民が安全かつ安心して利用できる公園として、大規模公園のバリアフリー整備をする。	指標種類	指標		直接	バリアフリー化修繕工事による快適な大規模公園数	箇所	9	実績値	11		
3年後	市民が安全かつ安心して利用できる公園として、大規模公園のバリアフリー整備をする。	直接			直接	バリアフリー化修繕工事による快適な大規模公園数	箇所	11		11		
最終(概ね5年後)	市民が安全かつ安心して利用できる公園として、大規模公園のバリアフリー整備をする。	直接			直接	バリアフリー化修繕工事による快適な大規模公園数	箇所	11		11		
(7) 事業実施上の課題と対応	公園利用者が子ども中心から高齢者の憩いの場としての利用も増えてきているため、段差解消などのバリアフリー化がより必要となっている。	代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*	市内主要公園施設長寿命化計画策定(1)	15,513	*	天王台西公園バリアフリー化設計業務委託 布佐南公園バリアフリー化設計業務委託	8,608 11,005		*	天王台西公園バリアフリー整備工事 布佐南公園バリアフリー整備工事	38,260 22,959	
		予算(済)額	合計	15,513	合計	19,613	合計	61,219	合計	0		
		国庫支出金	補助率 50%	5,670	補助率 50%	7,100	補助率 50%	29,040	補助率 0%	0		
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
		起債	充当率 90%	0	充当率 90%	6,300	充当率 90%	26,100	充当率 0%	0		
		一般財源		9,843		6,213		6,079		0		
		その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		
		換算人数(人)		0.35		0.35		0.35		0		
正職員人件費		3,080		3,080		3,080		0				
嘱託職員報酬額		0		0		0		0				
臨時職員賃金額		0		0		0		0				
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		18,593		22,693		64,299		0				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		18,593千円/件		22,693千円/件								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	都市公園としての公園・緑地は生活にうおいとやすらぎを与えてくれるとともに、災害時には避難場所としての機能も有する大切な空間である。これらの機能を維持し、誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー化の推進を図り、より良好な公園・緑地の機能管理を進めていく。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (箇所)	目標値(b) (箇所)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	9	11	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (箇所) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.01	単位 費用単位	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善案及び展開方向					

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	816	課コード	0704	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公園維持管理 個別事業 公園施設維持管理	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	都市部・公園緑地課			
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	9人 (換算人数)		0.9人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 40,602千円 (うち人件費 7,920千円)	(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード 62101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	公園・緑地が持つ機能に配慮し、市内に残る貴重な樹林地や城跡、古墳などの歴史的・文化的資源を活用しながら、市街地で公園が不足している一部の区域において公園の整備を検討します。また、誰もが安心して利用できる公園のバリアフリー化を進めるとともに、主要公園における遊具の充実を図り、子どもたち大小合わせて217箇所ある公園・緑地の施設の点検を市、及び公園の清掃管理を委託している自治会（4月末提出）などが行い、危険性の高いものから遊具・施設の修繕・改良工事を行うことにより適正な維持管理を行う。			事業目的	安全・安心な公園とするために、適正な公園管理、修繕、改良を行なう。				
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	危険性を有するものは、早急に対応する。修繕・改良工事は、点検をもとに行なう。なかでも、柴崎台東公園遊具設置工事、手賀沼公園再整備のための設計業務委託を行う。				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				当該年度活動結果指標	公園緑地面積	単位	ha	想定値 150	
(5) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	ha	(5) 現況値 (6) 目標値	
当該(開始)年度	安全に安心して利用できるよう維持管理を行う				間接	多くの市民が安心して利用できる施設の公園面積	ha	150	150	
3年後	安全に安心して利用できるよう維持管理を行う				間接	多くの市民が安心して利用できる施設の公園面積	ha	150	150	
最終(概ね5年後)	安全に安心して利用できるよう維持管理を行う				間接	多くの市民が安心して利用できる施設の公園面積	ha	150	150	
(7) 事業実施上の課題と対応	昭和40年～50年代に開発・帰属された公園が多く、老朽化による修繕・工事が多いため、新規施設の設置が難しい。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		公園施設工事・修繕	20,000	公園施設工事・修繕	22,000	公園施設工事・修繕	20,000	公園施設工事・修繕	20,000	
		嘱託職員(3名・25%)	1,693	嘱託職員(3名・25%)	1,682	嘱託職員(3名・25%)	1,693	嘱託職員(3名・25%)	1,693	
		* 遊具設置工事	3,006	* 遊具設置工事(柴崎台東公園)	3,000	* 手賀沼公園再整備工事	0	* 複合遊具の設置検討	0	
国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
一般財源	28,432	32,682	21,693	21,693						
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		
換算人数(人)	0.9	0.9	0.9	0						
正職員人件費	7,920	7,920	7,920	0						
嘱託職員報酬額	1,598	1,598	0	0						
臨時職員賃金額	0	0	0	0						
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	36,352	40,602	29,613	21,693						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	242.35千円/ha	270.68千円/ha								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	都市公園としての公園・緑地は生活にうおいとやすらぎを与えてくれるとともに、災害時には避難場所としての機能も有する大切な空間であるため、これらの機能を維持し、誰もが安心して利用できるよう、良好な公園・緑地管理を進めていく。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>						○要 ○不要	
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 公園管理委託をしている自治会が公園施設の簡易なメンテナンスを行っている。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(ha)	目標値(b)(ha)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成				
	150	150	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(ha)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>				
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
△11.69										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	0.37	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				
	ha 10万円									

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (817), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 28, 29, and 30.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充) and a space for comments.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (1881), 課コード (0704), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充).

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and future directions).

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード 2153 課コード 0704 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 (基本事業: さくらプロジェクト, 個別事業: さくらプロジェクト), ③事業主体 (市), ⑤事業期間 (平成28年度 ~ 平成29年度), ⑦事業費 (総事業費: 0千円), ⑧施策の位置づけ (重点プロジェクト: 重点2).
(2) 目的: 手賀沼に多くの人に訪れてもらうため、周辺の歩道や公共サインなどを整備するとともに、交通アクセスの向上を図ります。
(3) 事業内容: 手賀沼の観光資源である手賀沼を活かして我孫子の魅力をより一層高め、多くの方に長い期間にわたって桜を楽しんでいただけるよう、開花時期の異なる品種を適切な場所に植樹する。
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果)
(5) 財源内訳: 平成28年度 9,717千円, 平成29年度 3,200千円, 平成30年度 900千円, 平成31年度 900千円.
(6) 人件費等: 事業費(予算(済)額+正職員人件費) 12,797千円, 3,980千円, 3,980千円, 900千円.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性): 本市が自立した都市として持続的に発展していくためには、産業や観光を振興し、まちの魅力や活力を高めることにより、交流人口の拡大や市内への定住化を促進していくことが求められています。
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性): ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり): ①事業計画時に市民の参画有り ②事業実施時に市民の参画有り ③管理・運営に市民の参画有り ④市民の自主的な活動と連携している ⑤市民と共同で事業を実施 ⑥その他
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?: ①自然環境を生かしている ②生き物と共存している ③手賀沼を意識している ④環境負荷低減に貢献している ⑤その他
(5) 目標設定は適切か?: 現況値(a) 144, 目標値(b) 174, 達成率 125%.
(6) 事業費削減の工夫をしているか?: 対策実施による事業費削減 50.93%, 実施予定の対策: ①国・県助成制度活用 ②現行体制での対応 ③維持管理費の削減策の実施 ④民間委託 ⑤PFI等民間資本の活用 ⑥受益者負担 ⑦その他.
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用): 2.77.

3. 事後評価
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 改善策及び展開方向